

連携中枢都市宣言書

この宣言書は、連携中枢都市圏の形成にあたり、本市が圏域全体の活性化と発展に向け、積極的に役割を果たしていく意思を示すものです。

平成29年9月5日

富山市

連携中枢都市宣言

我が国全体が、本格的な人口減少・少子超高齢社会を迎える中、地域経済の縮小やコミュニティ機能の低下など、住民生活への影響が懸念されており、地方公共団体には、住民が安心して快適な暮らしを営むことができるよう、将来にわたって持続可能な行政サービスを提供することが求められています。

国においては、これまでも、地方公共団体の区域を越えた様々な広域行政の取り組みを推進されており、平成 26 年には、連携協約制度に基づく「連携中枢都市圏構想」が創設され、同年に閣議決定された「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の中においても、この構想が主要な政策の一つとして位置付けられたところでもあります。

一方、今日、地方から大都市圏への人口流出は深刻化しており、国では、三大都市圏以外の政令市や人口 20 万人以上の中核市が中心となって近隣市町村と連携し、住民の暮らしを支えるための拠点を形成するよう、全国に働きかけられているところでもあります。

これまでも、本市は、日本海側有数の中核都市として、高次都市機能の集積や、産業、文化、観光、環境、医療等の分野で広域的な連携や事務の共同処理を進めてきたところではありますが、今後さらに、周辺の市町村を含む、この圏域からの人口の流出を食い止める「人口のダム機能」を担い、圏域全体の発展をけん引していく責務があるものと考えます。

このことから、本市は、今後、自らの市域を越えた圏域全体の将来を俯瞰し、各市町村と連携しながら、一定の人口を維持した活力ある、住みよい魅力あふれる都市圏の実現のため、「連携中枢都市」としての役割を果たしていくことを決意し、ここに宣言します。

平成 29 年 9 月 5 日

富山市長 森 雅 志

1 圏域の現在の人口と将来推計人口

(人)

市町村名	現在の人口	将来推計人口		
	平成 22 年 (2010)	平成 32 年 (2020)	平成 42 年 (2030)	平成 52 年 (2040)
富山市	421,953	407,814	381,752	349,867
滑川市	33,676	31,987	29,657	27,058
舟橋村	2,967	3,171	3,275	3,376
上市町	21,965	19,702	17,184	14,558
立山町	27,466	25,606	23,257	20,691
圏域計	508,027	488,280	455,125	415,550

出典：総務省「国勢調査（平成 22 年）」

出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成 25 年 3 月推計）」

※ 連携中枢都市圏構想推進要綱に基づき、現在の人口は「国勢調査（平成 22 年）」を用いる。

2 本市への通勤通学割合

本市に対して従業又は通学する就業者数及び通学者数を、常住する就業者数及び通学者数で除して得た数値が、0.1 以上である市町村

(人)

	A 当地に常住する 就業者・通学者総数	B うち自宅 で従業等	C 富山市で従業・通 学	富山市への通勤通 学割合 C/(A-B)
	魚津市	24,767	2,595	2,770
滑川市	18,303	1,481	5,109	0.30
射水市	51,284	4,092	10,992	0.23
舟橋村	1,691	128	921	0.59
上市町	12,090	1,339	4,153	0.39
立山町	15,362	1,857	7,109	0.53

出典：総務省「国勢調査（平成 22 年）」

※ 第 2 表 常住地による従業・通学市区町村、男女別 15 歳以上就業者数及び 15 歳以上通学者数

※ 太字の表記は、連携が想定される市町村

※ 連携中枢都市圏構想推進要綱に基づき、就業・通学等の人数は「国勢調査（平成 22 年）」を用いる。

3 圏域の都市機能の集積状況

(1) 医療・福祉

① 医療施設及び医師数

(所、床、人)

区分	病院		一般診療所		医師数
	施設数	病床数	施設数	病床数	
富山市	46	7,717	330	284	1,380
滑川市	2	347	23	23	51
舟橋村	0	0	2	0	1
上市町	1	219	10	0	38
立山町	1	60	13	0	17
圏域計	50	8,343	378	307	1,487

出典：厚生労働省「医療施設調査（平成27年）」、「医師・歯科医師・薬剤師調査（平成26年）」

② 拠点病院等の状況

【がん医療】

区分	所在地	医療機関名
がん診療連携拠点病院	国指定	富山市 富山県立中央病院、富山大学附属病院
	県指定	富山市 富山市民病院、富山赤十字病院

出典：富山県「富山県地域医療構想（平成29年3月）」

【救急医療】

区分	所在地	医療機関名
第3次救急医療体制	富山市	富山県立中央病院
第2次救急医療体制	富山市	富山県立中央病院、富山市民病院、富山赤十字病院、済生会富山病院、富山大学附属病院
	滑川市	厚生連滑川病院
	上市町	かみいち総合病院
	富山市	西能病院、富山協立病院、杉野脳神経外科病院、北川内科クリニック、桜井病院、不二越病院、八尾総合病院
初期救急医療体制	立山町	藤木病院
	富山市	富山市・医師会急患センター
	富山市	富山県歯科保健医療総合センター 富山市歯科医師会
	富山市	本江整形外科医院、高重記念クリニック

出典：富山県「富山県地域医療構想（平成29年3月）」、「富山県医療計画（平成25年3月改定版）」、「救急告示医療機関（平成29年8月1日現在）」

【災害医療】

区分	所在地	医療機関名
基幹災害拠点病院	富山市	富山県立中央病院、富山大学附属病院
地域災害拠点病院	富山市	富山市民病院、富山赤十字病院

出典：富山県「富山県地域医療構想（平成29年3月）」

【へき地医療】

区分	所在地	医療機関名
へき地医療拠点病院	上市町	かみいち総合病院

出典：富山県「富山県地域医療構想（平成29年3月）」

【周産期医療】

区分	所在地	医療機関名
総合周産期母子医療センター	富山市	富山県立中央病院
地域周産期母子医療センター	富山市	富山市民病院、富山大学附属病院
周産期母子医療センター連携病院	富山市	富山赤十字病院

出典：富山県「富山県地域医療構想（平成29年3月）」

③ 社会福祉施設等

(施設、人)

区分	保護施設		老人福祉施設		障害者支援施設等		身体障害者 社会参加支援施設	
	施設数	定員	施設数	定員	施設数	定員	施設数	定員
富山市	2	200	17	821	22	851	3	-
滑川市	-	-	1	50	-	-	-	-
舟橋村	-	-	-	-	-	-	-	-
上市町	-	-	-	-	2	100	-	-
立山町	-	-	2	85	-	-	-	-
圏域計	2	200	20	956	24	951	3	-
区分	児童福祉施設等		(児童福祉施設等のうち) 保育所等		その他の社会福祉 施設等			
	施設数	定員	施設数	定員	施設数	定員		
富山市	113	11,669	88	11,215	60	1,503		
滑川市	14	1,038	12	1,035	7	96		
舟橋村	1	120	1	120	-	-		
上市町	14	634	10	630	3	40		
立山町	11	810	10	810	6	115		
圏域計	153	14,271	121	13,810	76	1,754		

出典：厚生労働省「社会福祉施設等調査（平成27年）」

(施設、人、床)

区分	介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)		介護老人保健施設 (老人保健施設)		介護療養型医療施設 (療養病床等)		地域包括 支援セン ター
	施設数	定員	施設数	定員	施設数	病床数	施設数
富山市	24	1,685	18	1,783	14	853	32
滑川市	3	162	1	150	1	28	1
舟橋村	2	80	-	-	-	-	1
上市町	1	80	1	130	-	-	1
立山町	1	80	1	70	-	-	1
圏域計	31	2,087	21	2,133	15	881	36

出典：富山県「老人福祉施設及び介護サービス事業所等一覧（平成29年7月1日現在）」

(2) 教育・文化・スポーツ

① 高等教育機関

(人)

高等教育機関名	学部・学科	修業年限	在籍学生数	所在地
富山大学	人文学部	4年	808	富山市
	人間発達科学部	4年	719	
	経済学部	4年	1,740	
	理学部	4年	1,006	
	医学部医学科	6年	664	
	医学部看護学科	4年	338	
	薬学部薬学科	6年	340	
	薬学部創薬科学科	4年	222	
	工学部	4年	1,789	
富山国際大学	現代社会学部	4年	432	富山市
	子ども育成学部	4年	402	
桐朋学園大学院大学	音楽研究科	2年	22	富山市
富山短期大学	経営情報学科	2年	232	富山市
	福祉学科	2年	77	
	食物栄養学科	2年	169	
	幼児教育学科	2年	170	
富山高等専門学校	機械システム工学科	5年	205	富山市
	電気制御システム工学科	5年	229	
	物質化学工学科	5年	218	
圏域計			9,782	

出典：富山県「富山県の高等教育機関（平成28年度）」

在籍学生数（平成29年5月1日現在）は、各高等教育機関のホームページ等

② 文化施設

(施設、冊、人)

区分	図書館			美術館・博物館	文化ホール
	施設数	所蔵総数	登録者		
富山市	27	1,967,574	177,626	30	22
滑川市	2	159,246	18,446	2	2
舟橋村	1	84,018	18,423	0	0
上市町	1	92,774	7,647	2	1
立山町	1	106,252	15,524	4	1
圏域計	32	2,409,864	237,666	38	26

出典：図書館は、富山県立図書館「県内公立図書館統計（平成27年度）」

美術館・博物館は、日本博物館協会「全国博物館総覧」

③ スポーツ施設

(施設)

区分	陸上競技場	体育館	プール	グラウンド	テニスコート	武道場	ゲートボール場
富山市	4	17	13	28	16	10	2
滑川市	1	3	0	4	2	1	1
舟橋村	0	0	0	0	1	0	0
上市町	0	5	0	2	1	1	1
立山町	1	6	1	9	4	1	2
圏域計	6	31	14	43	24	13	6

出典：富山県及び各市町村ホームページ、立山町「立山町教育要覧（平成29年度）」

(3) 商業施設

大規模小売店舗（店舗面積10,000㎡以上）

区分	店舗名
富山市	フューチャーシティファボーレ、総曲輪フェリオ、フェアモール富山、アピタ富山、マイプラザ、富山ターミナルビル・電鉄富山駅ビル（マリエ・エスタ）、アピア、シック、フューチャーシティファボーレ2
滑川市	PLANT-3滑川店

出典：富山県「大規模小売店舗の概要（平成29年4月1日）」

(4) 産業

産業別就業人口と構成比

(人)

区分	第1次産業		第2次産業		第3次産業	
富山市	4,750	2.3%	62,733	30.7%	137,048	67.0%
滑川市	619	3.6%	6,779	39.9%	9,600	56.5%
舟橋村	67	4.2%	490	30.9%	1,028	64.9%
上市町	460	4.4%	3,862	37.0%	6,108	58.6%
立山町	814	6.0%	4,432	32.7%	8,328	61.4%
圏域計	6,710	2.7%	78,296	31.7%	162,112	65.6%

出典：総務省「国勢調査（平成27年）」

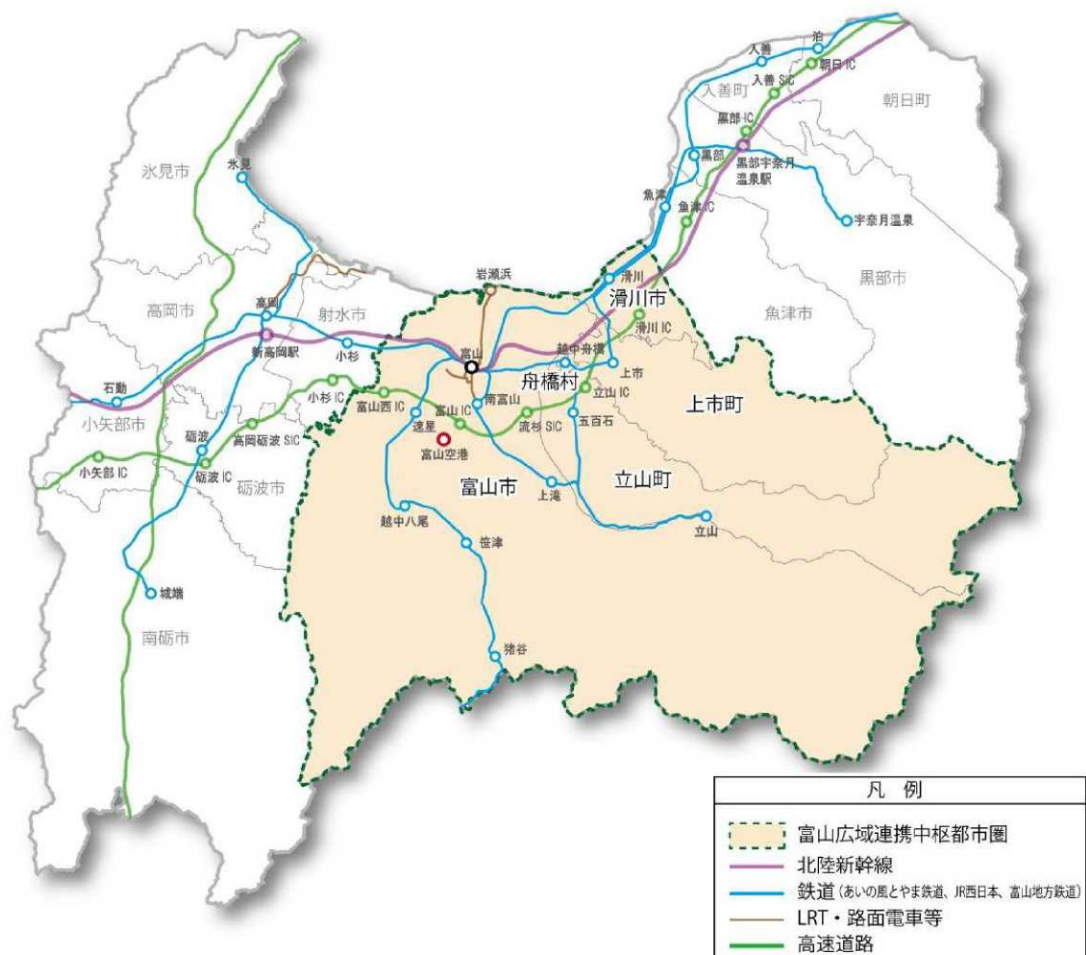
(5) 交通

① 交通インフラの状況

区分	主な路線等
高速道路	北陸自動車道【富山西 IC、富山 IC、流杉 SIC、立山 IC、滑川 IC】
JR 西日本	北陸新幹線【富山駅】 JR 高山本線【富山駅～猪谷駅】
あいの風とやま鉄道	あいの風とやま鉄道線【呉羽駅～東滑川駅】
富山ライトレール	富山ライトレール【富山駅北～岩瀬浜】
富山地方鉄道 (路線と駅名)	本線【電鉄富山駅～越中中村駅】 立山線【電鉄富山駅～立山駅】 不二越・上滝線【電鉄富山駅～岩峯寺駅】 富山軌道線【南富山駅前～大学前】
路線バス (事業者名とエリア)	富山地方鉄道【富山市、滑川市、立山町】 加越能バス【富山市】 立山黒部貴光【立山町】
コミュニティバス	富山市【まいどはやバス、富山港線フィーダーバス、呉羽いきいきバス、水橋ふれあいコミュニティバス、八尾まちめぐりバス、婦中コミュニティバス、富山市コミュニティバス(大山地域、八尾地域、山田地域)】 滑川市【のるmy car】 上市町【上市町営バス】 立山町【立山町営バス】

出典：各社ホームページ

主な交通路線網



② 圏域内の鉄道の利用状況

【鉄道駅別一日平均利用者数】

あいの風とやま鉄道線、JR 高山本線、北陸新幹線の各駅別一日平均乗車人員

(人/日)

路線名	駅名	乗車人員	
あいの風とやま鉄道線 JR 高山本線 北陸新幹線	富山	19,274	
	呉羽	1,734	
	東富山	1,399	
あいの風とやま鉄道線	水橋	965	
	滑川	1,368	
	東滑川	154	
	JR 高山本線	西富山	364
		婦中鶉坂	193
速星		1,049	
千里		396	
越中八尾		916	
東八尾		46	
笹津		136	
楡原		35	
猪谷		71	

出典：富山県「富山県統計年鑑（平成 27 年）」

富山地方鉄道の各駅別一日平均乗降人員

(人/日)

路線名	駅名	乗降人員
本線	電鉄富山	7,422
	稲荷町	1,141
	新庄田中	136
	東新庄	918
	越中三郷	514
	寺田	350
	上市	1,813
	中加積	235
	中滑川	770
	滑川	319
立山線	五百石	872
	釜ヶ淵	236
	岩峯寺	402
	有峰口	84
	立山	591
不二越線	不二越	407
	南富山	1,346
上滝線	上堀	281
	上滝	347

出典：富山県「富山県統計年鑑（平成 27 年）」

4 近隣市町村と連携して取り組むことを想定する分野

(1) 圏域全体の経済成長のけん引

- ① 産学金官民一体となった経済成長の推進体制の構築
- ② 新規創業の促進及び地域産業の振興
- ③ 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大
- ④ 戦略的な観光施策の推進

(2) 高次の都市機能の集積・強化

- ① 高度な医療サービスの提供
- ② 高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築
- ③ 高等教育・研究開発の環境整備

(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

- ① 地域医療・介護の充実
- ② 福祉の充実
- ③ 教育・文化・スポーツの振興
- ④ 広域的な土地利用
- ⑤ 地域振興
- ⑥ 災害対策等の充実
- ⑦ 環境対策の推進
- ⑧ 地域公共交通の充実
- ⑨ ICTインフラの整備
- ⑩ 道路等の社会インフラの整備
- ⑪ 地域の生産者や消費者等の連携による地産地消
- ⑫ 圏域内外の住民との交流・移住促進
- ⑬ 圏域マネジメント能力の強化